

子ども防災

(第12号)

プロジェクト ニュース

発行：鶴見橋中学校

発行日：2014.1.27



二回防災土曜参観

1月18日(土)に、防災土曜参観が行われました。保護者・地域住民の方々、大阪市消防局・西成消防署の方々にも学校に来ていただき、防災に関する体験活動や講座など様々な取り組みを実施しました。

まずは全校集会で、消防局・消防署の方々によるてんぷら油火災の実演を行いました。消防局の方がてんぷら油に水を注いだ瞬間、約6メートルもの高さの火柱が勢いよく上がりました。すぐ近くで見ていた生徒は、その熱気にも驚いていましたね。もしこれが家のキッチンで起こったと思うと、本当に恐ろしいです。てんぷら油に火が上がったときには、濡れた布をかぶせて火を消すことが有効であると学びました。



【2年 救出・搬送講習】



【てんぷら油火災実習】

消防による防災講座

1年生は、AEDを用いた救命救急について学習しました。心臓停止により年間6万人もの人が命を落としています。一つでも多くの命を救えるよう、AEDの使い方と設置されている場所を知ることが大切です。

2年生は、救急搬送について、ロープの結さく方法や建物の下敷きになった人を助ける方法、ケガ人の搬送方法について実践を行いました。ここで得た技術を災害時に実践できるようにしましょう。

3年生は、プールの水を使って、可搬式ポンプの使い方を学びました。地域の防災リーダーの方々も講習に参加していただき、防災から地域のつながりを深めることもできました。



【1年 救命救急講習】



【3年 可搬式ポンプ実習】

2月の子防フロは…

8日(土) 北津守小学校
15日(土) 長橋小学校で

防災出前授業

を行います！



【防災どっち クロスロード】



【全校防災集会のようす】

全校防災集会

防災土曜授業の最後を締めくくったのは、2年生 岩田若菜さんと芳野桃花さん、1年生 高井雪月花さんによる発表でした。

土曜授業の前日、1月17日は阪神淡路大震災が起こって、ちょうど19年目という日でした。3人の発表にもあったように、阪神淡路大震災では6434人もの人々が亡くなりました。その6434人ひとりひとりが、誰かにとっての大切な人だったのです。みなさんは今、すぐそばにある大切ないのちを大事にしていますか？家族がいる。友達がいる。先生がいる。そんな幸せに気が付いていますか？

ぜひこの集会を機に、自分たちの生活を見直してみしましょう。

本当にささいなことでもいいのです。朝、先生に「おはようございます」と言ってみる。家族に「いつもありがとう」と伝える。困っている友だちに声をかけてみる。3人の発表を機会に、みなさんそれぞれ「行動」を変えていきましょう。